

2019年度 第4回教育委員会議事録

日 時 2020年1月31日(金) 10:30～17:00

会 場 日本代協 会議室

出席者 石川委員長

(敬称略)

ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名
北海道	伊藤	北東北	西村	南東北	庄司	上信越	古瀬
東関東	村田	南関東	丹野	東京	雨宮	東海	松山
北陸	中村	近畿	関西	阪神	門口	東中国	藤原
西中国	井手	四国	渡部	九州北	坪口	九州南	玉城

事務局: 山口副会長、小見常務、工藤部長

(配布資料)

議事項目	ページ	資料名
資料4-(1)-	P1	「損害保険大学課程・合同運営会議」メモ(2019-2)
資料4-(1)-	P4	「第1回コンサルティングコースセミナー」アンケート
資料4-(1)-	P5	「第2回コンサルティングコースセミナー」損保協会モニタリング状況
資料4-(1)-	P7	損害保険大学課程各コースの認定状況等について
資料4-(1)-	P8	「トータルプランナーがいる代理店の検索サイト」掲載状況
資料4-(1)-	P9	募集人教育のあり方
資料4-(1)-	P11	トータルプランナーの未来構想について
資料4-(2)-	P13	「トータルプランナー認定授与式・交流会」概要
資料4-(2)-	P14	「認定バッジ申込書」(認定授与式出席者のみ申込可)
資料4-(3)-	別紙	「コンサルティングコース」受講申込状況(日報)
資料4-(3)-	別紙	「コンサルティングコース」受講申込状況(代申別)
資料4-(3)-	別紙	「目指せ三冠王!!」ニュース
資料5	別紙	日本代協「2020年度事業計画」案(2/7 理事会審議用 DRAFT)
資料6-(2)-	P15	各都道府県・アカデミー利用者登録数(1/28時点)
資料6-(2)-	P16	2019年度「第2回理事会議事録」抜粋
資料6-(2)-	P17	ブロック協議会運営ガイドライン(開催案内ひな型)
資料6-(2)-	P18	2020年度「アカデミー数値目標」(案)
資料6-(2)-	P20	「アカデミーコンテンツ」アクセス数
資料6-(2)-	P22	「こちら代理店経営相談室」収録状況
資料6-(2)-	別紙	アカデミー新チラシ案
資料6-(2)-	別紙	アカデミー学習ガイド(アカデミーWEBページにアップ)
資料7-(1)	別紙	「第3回アンケート(リタイアメントプラン)」回答一覧
資料8-(1)	別紙	「コンサルティングコース」テキスト等教材作成スケジュール

1. 決定事項

「コンサルティングコース」受講者募集目標について、全都道府県代協が目標達成するよう取り組む。来年度の「コンサルティングコース」受講者募集は、今年度同様、「三冠王」の必須項目とし、目標の総数は、今年度と同一の840名とする。ブロック・都道府県ごとの割り振りは、今年度の募集最終結果を受けて、変更が必要かどうか再協議する。

2020年度は、4つのPT(アカデミー教育コンテンツPT、アカデミー情報提供コンテンツPT、アカデミー推進PT、損保大学課程カリキュラムPT)を立ち上げて運営する。

日本代協アカデミーの2020年度「三冠王」の目標については、今年度と同様に「有料会員・利用者ID登録数」を「代協独自取組み項目」の選択肢の1項目とする。ID数の目標値については、3月末のID登録結果を検証した上で、2020年度・第1回教育委員会で論議する。

2. 継続検討事項

「コンサルティングコース」の内容見直し、トータルプランナーの社会的信認度向上
「日本代協アカデミー」コンテンツの充実

議 事

(進行) 石川委員長 (書記) 村田委員

1. 議事録作成者の指名、出席者の確認

教育委員 16名

山口副会長、事務局 小見常務、工藤部長

2. 石川委員長挨拶

日本代協アカデミーを、「教育委員会としてこれで良いのか」ということを含めてみんなでもう一度議論し、しっかりとした事業計画を立て、2月の理事会で報告したいと思う。今日は一日、日本代協アカデミー、そしてこの時期は「コンサルティングコース」の募集も抱えているが、よろしく願いたい。

3. 山口副会長挨拶

このメンバーによる委員会は、今日を含めてあと2回。様々なことが佳境であり、総仕上げである。アカデミーに関しては、今のメンバーの責任だと思う。続投される方も卒業される方もいるかとは思いますが、今後ともアカデミーに責任をもってずっと関わってほしい。「コンサルティングコース」の募集も佳境となっている。これだけはやり切らなければいけないので、最後の2週間、ご尽力をお願いしたい。今年度の総仕上げとともに次年度の教育委員会ミッションにかかわる重大な論議をしていただき、教育委員としての財産を築いてほしい。

4. 損害保険大学課程の運営

(1) 11/21 合同運営会議(報告)

- ・重点的に対応している特定修理業者について、トラブル件数が年々増加しているということで、「コンサルティングコースセミナー」で取り上げたことに対し、損保協会からお褒めの言葉があった。
- ・2020年度はオリンピック・パラリンピックが開催されるため、開催期間中は、公共交通機関の混雑が予想される開催都市付近の会場(首都圏、札幌)ではセミナーは実施しない。
- ・募集人教育の在り方として、「コンサルティングコース」も含めて、今後どうしていくのかを損保協会に提案。「トータルプランナーになりたい」という人が増えるよう、損保協会と連携して努力を重ねる。

(2) 12月6日(イイノホール)「トータルプランナー認定授与式・交流会」について(報告)

- ・回を重ねるごとに参加者が増えてきている。参加者から「いろいろな交流ができて良かった」との意見をいただいているので、積極的に参加を呼び掛けてほしい。
- ・各代協で「記念品授与式」があるが、「認定授与式」とSNSに投稿している人がおり、注意してほしい。

(3) 「コンサルティングコース」受講者募集対策(審議)

- ・今年度は代理店手数料への組み入れ等の追い風が無いので苦戦しているが、受講者募集目標について、全都道府県代協が達成するよう取り組む。

【好取組事例】

損保協会の方と各保険会社を訪問して協力を依頼
ターゲットリストの作成と電話入れの実施

支部からの働きかけ

保険会社から代理店会等できちんと伝えてもらう

賀詞交歓会までに目標達成した支部を表彰

各保険会社から専任者を1名出してもらい、募集勸奨の打ち合わせを実施

代理店賠償加入代理店をリスト化し、「トータルプランナー割引」の観点からアプローチ

「見える化シート」を作成し、保険会社の支社長に案内

賀詞交歓会に損保協会・事務局長に参加してもらい、出席者に申込を依頼

協会長会社(あいおいニッセイ同和)の役員に現状を伝えて督励を依頼

5. 日本代協「2020年度事業計画」案(審議)

(1)「損害保険大学課程」の運営(含む「三冠王・目標」)

- ・来年度「コンサルティングコース」受講者募集目標の総数は、840名のまま変更しない。ブロックごと、都道府県ごとの目標については、最終的な数字を見て変更が必要かどうかを決める。
- ・三冠王の一冠として、「コンサルティングコース」を今後も運営していく。

(2)「損害保険トータルプランナー」の魅力向上

- ・「認定バッジ」は、認定授与式出席者のみを対象に、損保協会が先行販売を実施。年度内には、トータルプランナーであれば購入できるよう、損保協会が販売システムを立ち上げる予定。
- ・「写真付きカード型認定証」は、来年度中に損保協会がリリースする計画。
リリース後に、教育委員会で「認定バッジ」と「写真付きカード型認定証」の活用推進を実施する。

6. アカデミーの状況と推進

(1)広報委員会(1/23)参加結果(報告)

- ・広報委員会にオブザーバーとして参加(正副委員長、中村アカデミーPTリーダー)。その前段階としてインプリメント・木村社長から、YouTubeのノウハウを伝授。スマホで簡単に撮れる上に、アプリで編集も簡単にできることがわかった。まずは、好取組事例の代理店取材に行き、自分たちで映像を撮影・編集して、アカデミーにアップすることに取り組む。
- ・「47都道府県リレー」企画完了後、2枠ほど広報委員会の枠があるので、「広報委員会と一緒にアカデミーの番組をやりませんか」と、お声掛けいただいている。広報委員との共同取組みで、番組を制作しアカデミーにアップする予定。

(2)今後の展開

(コンテンツ、推進方法、「2020年度事業計画」案、「三冠王・目標」、等)について(審議)

- ・2年間、アカデミーに取り組んできて、コンテンツ制作とID推進を分けて運用する必要性があることがわかった。「教育コンテンツPT」と「ID推進PT」を離しておかないと、パワーバランスが逆になってしまう。ブロックの現状・意見を踏まえた上で、来年度の体制を決定したい(石川委員長)。

<ブロックの現状・意見>

【北海道】

約4割の達成率だが、利用者ID登録数では全国トップ。2019年は登録ありきだが、2020年は推進・活用ありきで行きたいと思う。教育委員が均一のスキルを持つ必要がある。

【北東北】

実際登録してもらったが、お付き合い登録が多い。コンテンツが少ないイメージが強い。やはり中身の説明をしないといけないので、来年度からは教育委員会が中心となって総会などの際に説明できれば、認知度が上がるのかなと思う。

【南東北】

ブロック協議会を中心に話している。画面を使って説明していたが、最近は全部印刷して配付した。「是非使ってみて意見をください」というのだが、なかなか浸透していない。

【上信越】

代理店賠償、コンサルティングコース、アカデミーと、お願いベースになってしまっている。ID 登録会もお願いベースなので、納得していないので離れていってしまう。使い方勉強会をさらに広げていく。

【東関東】

乗合代理店のためにも、アカデミーを受ければ各社 OK と認定をしてもらわないといけない。そのためには損保協会、各保険会社にも認めてもらう、あるいは「金融庁の検査で OK してくれた」という実績があると良い。「代理店独自の教育システムはどうするのか」という答えがアカデミーであると思うので、保険会社向け、損保協会向けの PT の創設が必要。

【南関東】

山梨は代協として活気があって雰囲気が良いようで、きちんとやってくれている。神奈川は4月からの事業計画にアカデミーを入れてくれるとの代理店が多い。このタイミングをうまく使って進めていけば取り入れてくれるのではないかと考えている。

【東京】

教育計画を立てているところは途中から入れてくれないようだ。ただ「4月から」と言われているので心配はしていない。保険会社の教育とは違うところを説明して、監査に役立てていただければ良いのではないかと話している。

【東海】

数字がなかなか伸びない。1件1件地道に説明していくしかないのかなと思っているので、各県の教育委員長と話を進めている。一人代理店にはどのように案内していけば良いのか考えている。

【北陸】

訪問して登録してもらっている。賀詞交歓会でも教育と内部監査について話したところ、大きい代理店の社長に響き、次に大きいところの社長を連れて来てくれて、来週説明に行くことになっている。「アカデミーを使って学習する」文化を、各代理店に根付かせることが大切である。

【近畿】

「学習結果を全部分析できること」は魅力なのに、これを伝えきれていない。今後は見せ方を工夫すればもっと広がるのではないかなと思う。

【阪神】

「使い方がわからない」という意見が多いので、理事会等で必要性と使い方を情宣している。代協未加入のところにも魅力を伝えに行く。

【東中国】

アカデミーが浸透するには時間がかかるような気がしている。今後は保険会社を巻き込みながら、教育委員が情宣していかなければならないと思っている。

【西中国】

中身を見ていない人が多いのではないかな。認知度を上げるためには、中身をレクチャーする必要がある。広島でも山口でも、支部単位でそういった機会を設けようと話しているところ。

【四国】

大きな代理店が多いので、既に独自にやっていて必要性を感じてもらえていないので悩んでいるところ。賀詞交歓会で保険会社に教育プログラムを配布して見てもらうようにした。MS、TNの直資代理店にも勧めたので、門が開ければ一気に広がるのではないかなと思う。

・事務局より 特別会員(保険会社)は4月案内開始で、6月から視聴できる方向でシステム改訂中。

【九州北】

代理店を往訪して実際に見てもらい説明したところ、納得いただいた。登録ありきではなく、中身ありき

だと。店主だけでなく、事務スタッフにも見てもらうことがポイント。自分が使って人に伝えられるようにしていかなければならない。

【九州南】

沖縄は「外部監査セミナー」でアカデミーの使用方法について情宣を実施。前向きな問い合わせも増えてきている。また、文書を発信し、3月にID一括登録予定。ブロック全体となってやっていく雰囲気を作れるか考えているところ。

< 来年度の体制、展開 >

・下記4つ柱でPTを立ち上げて運営する。

アカデミー教育コンテンツPT(古瀬リーダー)

アカデミー情報提供コンテンツPT(丹野リーダー)

アカデミー推進PT(中村リーダー)

損保大学課程カリキュラムPT(雨宮リーダー)

・2020年度「三冠王」の目標については、今年度と同様に「有料会員・利用者ID登録数」を「代協独自取組み項目」の選択肢の1項目とする。ID数の目標値については、3月末のID登録結果を検証した上で、2020年度・第1回教育委員会で論議する。

7. 「情報収集」の状況

(1)「第3回アンケート(リタイアメントプラン)」の結果について(報告)

・アンケート回答は71件。4月のアンケートメールに回答結果の要約を記載する。

(2)「第4回アンケート(4月実施)」について(審議)

・4月上旬に「第4回アンケート」を発信予定。設問(3問)は、PTで検討する。

8. テキスト・カリキュラムの状況

(1)2020年度「テキスト・カリキュラム」の状況(報告)

・概ね計画どおり、テキストの校正を実施中。

(2)2021年度以降の「テキスト・カリキュラム」について(審議)

・「損保大学課程カリキュラムPT」が中心となって、見直しの検討を進める。

【次回開催】

2020年度:第1回 2020年4月9日(木) 10:30~17:00

以 上